



古文を読んでみよう

次の文章は、日本で最も古い物語といわれている「竹取物語」のはじまりの部分です。これは、「かぐやひめ」のもとになっているお話です。

今は昔、竹取の翁おきなといふものありけり。
野山にまじりて竹を取りつつ、
よろづいろいろのことに使ひけり。
名をば、さぬきのみやつことなむ言ひける。
その竹の中に、
もと光る竹なむ一筋ありける。
あやしがりて、寄りて見るに、
筒の中光りたり。
それを見れば、三寸ばかりなる人、
とてもかわいらしい様子いですわっていた
いとうつくしうてゐたり。

はじまりの部分絵に表しました。絵の中の人物はだれでしょう。上の文章中の言葉で答えましょう。

